

WORD 実用講座

2023年7月11日
パソコンを使いこなす会

【第7回分科会のテーマ：—図形—】

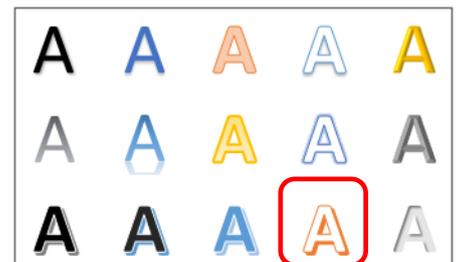
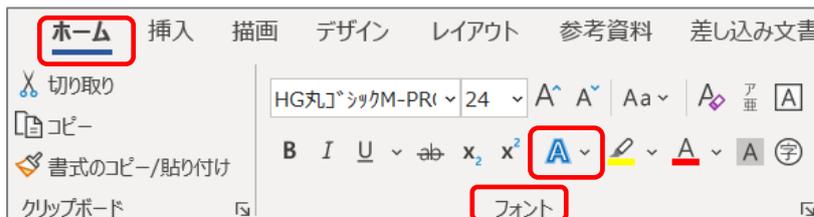
今回は書式の設定と複数の図形作成を学習します。

1. フォントサイズを変更する
2. 文字に効果を付ける
3. 罫線を挿入
4. 箇条書きを設定
5. インデントを設定する
6. 図形の作成
7. 図形の配置を揃える

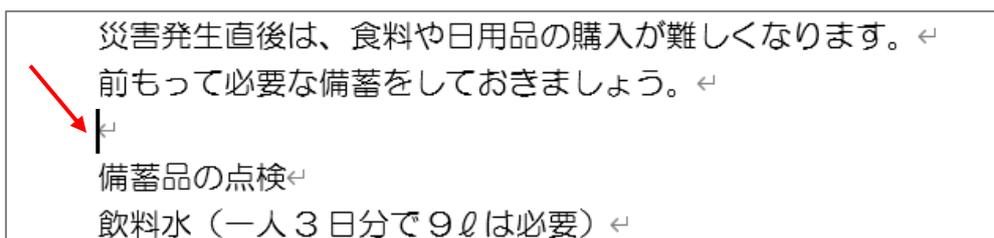
1. フォントサイズを変更する
最初のタイトルの「災害への備えや ～ 自然災害に備えましょう」の2行のサイズを「24」とします。



2. 文字に効果を付ける
タイトルの「災害への備えや～自然災害に備えましょう」をドラッグし、「ホーム」—「フォント」—「文字の効果と体裁」—「オレンジ色」を選択



3. 罫線を挿入
改行マークの前にカーソルを当て、「ホーム」—「段落」—「罫線」—「水平線」を選択





4. 箇条書きを設定

- ① 「飲料水」から「トイレパック」までの3行に「箇条書き」を設定する。
- ② 「懐中電灯～」から「その他～」までの5行に「箇条書き」を設定する。
「ホーム」－「段落」－「箇条書き」－「四角形」を選択



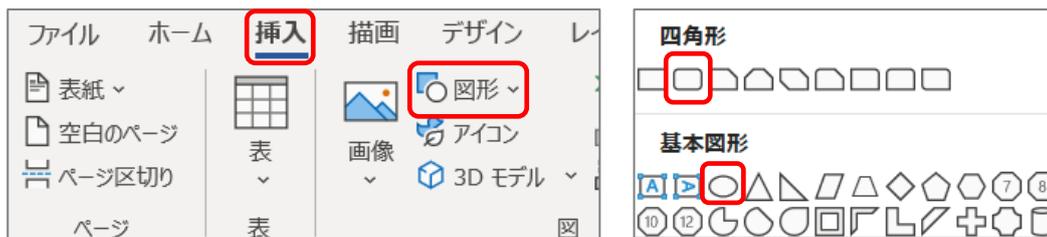
5. インデントを設定する

「段落」－－「インデント」－左「14」－「OK」

- ① 「災害発生直後は～」から「トイレパック～」までの6行に、14字インデントを増やす
- ② 「非常持ち出しの～」から「その他、各自が～」までの6行に、2字インデントを増やす
- ③ 「自宅周辺の災害リスク～」から「自分の避難行動を～」の2行に、14字インデントを増やす
- ④ 「災害発生時は～」から「適切な避難行動を～」の2行に、14字インデントを増やす

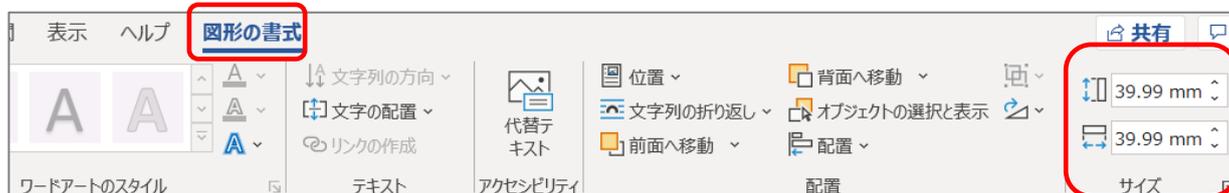


6. 図形の作成



(A) 「円形」の図形作成

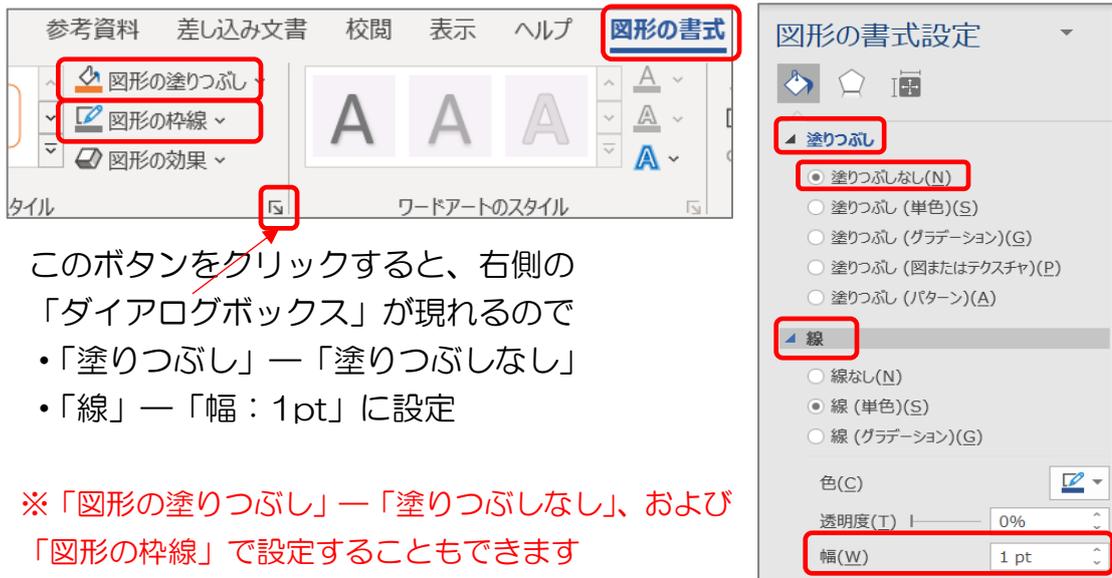
- ① 「挿入」－「図形」－「基本図形」－「楕円」を選択
- ② 「Shift」キーを押しながら、円形を作成
- ③ サイズを高さ、幅とも「39.99 mm」にします



- ④ コピーを2個作成し、縦に3個並べます
- ⑤ 円形の図形の中に文字を入力します
「備える」、「調べる」および「避難行動をとる」3個の文字列を入力し、フォントを、「HG丸ゴシック M-PRO」、サイズを「16」にします
- ⑥ 「作成見本」を参考に図形を配置します

(B) 「四角形」の図形作成

- ① 「挿入」－「図形」－「四角形」－「四角形：角を丸くする」を選択
- ② サイズを1個は「高さ：94mm、幅：179mm」
サイズが「高さ：48mm、幅：179mm」を2カ所作成します
- ③ 「塗りつぶしなし」に設定します
「図形の書式」タブ－「図形の書式」－「ダイアログボックス」を表示させる



このボタンをクリックすると、右側の「ダイアログボックス」が現れるので
 ・「塗りつぶし」－「塗りつぶしなし」
 ・「線」－「幅：1pt」に設定

※「図形の塗りつぶし」－「塗りつぶしなし」、および「図形の枠線」で設定することもできます

④ 「作成見本」を参考にそれぞれ図形を配置します

7. 図形の配置を揃える



- ① 「円形」の図形の3個を「Shift」キーでクリックし「図形の書式」－「配置」－「左揃え」を選択
- ② 「四角形」の図形3個も同様に、「Shift」キーでクリックし「図形の書式」－「配置」－「左揃え」を選択、続いて、「図形の書式」－「配置」－「上下に整列」を選択

保存して終了します

以上

【参考文書】
 広報よこはま 2020年9月号
[2020.9.pdf \(yokohama.lg.jp\)](http://2020.9.pdf(yokohama.lg.jp))



作成手順

1,2
「++災害への備えや避難行動を正しく理解し、大雨や大地震などの自然災害に備えましょう」

6-A,7-①

備える

5-①

災害発生直後は、食料や日用品の購入が難しくなります。前もって必要な備蓄をしておきましょう。

備蓄品の点検

3

飲料水（一人3日分で9ℓは必要）

4-① 食料（インスタント食品や缶詰など）

トイレパック（1人3日分で15個）

6-B,7-②

5-② 非常持ち出し品の点検

懐中電灯・ランタン

携帯ラジオ

4-② 貴重品（現金、預貯金通帳、印鑑、健康保険証など）

マスクや体温計などの衛生用品

その他、各自が生活に必要な物品など

6-A,7-①

調べる

5-③

自宅周辺の災害リスクや避難のタイミング、自分の避難行動を事前に確認しておきましょう

6-B,7-②

6-A,7-①

避難行動

をとる

5-④

災害発生時は、周囲の状況に応じて適切な避難行動をとりましょう

6-B,7-②

災害への備えや避難行動を正しく理解し、 大雨や大地震などの自然災害に備えましょう

備える

災害発生直後は、食料や日用品の購入が難しくなります。
前もって必要な備蓄をしておきましょう。

備蓄品の点検

- 飲料水（一人3日分で9ℓは必要）
- 食料（インスタント食品や缶詰など）
- トイレパック（1人3日分で15個）

非常持ち出し品の点検

- 懐中電灯・ランタン
- 携帯ラジオ
- 貴重品（現金、預貯金通帳、印鑑、健康保険証など）
- マスクや体温計などの衛生用品
- その他、各自が生活に必要な物品など

調べる

自宅周辺の災害リスクや避難のタイミング、
自分の避難行動を事前に確認しておきましょう

避難行動 をとる

災害発生時は、周囲の状況に応じて
適切な避難行動をとりましょう」